

看過できない

あまりに酷い政治の劣化

安倍元首相が参院選の最中、凶弾に倒れました。哀悼の意は表しますが、モリ・カケ・サクラなど数々の疑惑真相を本人から明らかにされる機会が閉ざされたのに加え、カルト教団との癒着が新たに浮き彫りになりました。

この教団が自民党を中心に公明・維新や野党各党にも深くかかわりを持っていたことに驚くばかりか、過去に合同結婚式や霊感商法、高額献金などで国民を苦しめ社会問題化した際の捜査・司法当局の姿勢も改めて問われる事態になっています。

とりわけ、自民党議員をとりまく選挙丸抱え応援と集票、講演や挨拶要請に対し、議員個々の問題に矮小化し、「関係を断つ」とすら言えない癒着ぶりにはあきれかえるばかりです。



参院選で安定多数を獲得し黄金の3年間を手にした政府与党が、選挙時のポスターでキャッチコピーにしたのが「決断と実行」(自民)、「日本を前に」(公明)でしたが、その後の政権運営を見て皆さまはどう感じられますか？

①憲法の規定や解釈を濫用する、②国会を軽視する、③国民の民意を無視する、④嘘をつきまくり反省の態度すら示さない、⑤ネトウヨ議員を重用する、等まるでアベ政治のDNAを丸ごとそっくり引き継いだかのような有り様です。



ウクライナ問題や外交政策全般、核兵器廃絶についてもアメリカ追随・べったりで自らの言葉で国民に語り掛けようとしめない岸田首相。新型コロナ対策、物価高騰・円安対策、統一協会をはじめとする反社会勢力への対応、どれをとっても国民の声を聞く耳を持たず、対応は後手後手であり、こうした事態にも関わらず臨時国会さえ開こうとせず、何を狙いたいのかその方向性が見えない無策ぶり

が際立ってきています。珍しく「即断した」アベ国葬問題には国民世論は日に日に乖離しています。あまりの政治の劣化に強い憤りを覚えるとともに、もっと国民に目を向け真面目に政治をしてもらいたいものだと感じています。

自民・公明・維新・国民民主など改憲推進勢力の拡大で、憲法審査会開催が強行されています。憲法第九条が骨抜きにされかねない危機が拡大しています。九条の会をはじめとした市民の草の根からの運動は、これまでの粘り強い闘いで立憲野党とも共闘して改憲策動を阻み続けてきました。野党共闘にさまざまな弱点を抱えているのは残念な事実ですが、たとえ小さくても9条改憲NO!の声を上げ続けていくことがいま非常に重要です。平和を求め広範な仲間との連携を深め運動を進めていくことに今後ともご協力よろしくお願い致します。

お知らせ

「たよりの印刷用紙が立派過ぎるのではないのでしょうか？」と疑問のご意見をいただきました

なんかきれいで高そうな用紙だなと、多くの皆さまも感じておられたのではないのでしょうか。しかし、「コート紙(いまご提供の用紙)」を利用することで印刷会社で最も安価に作成できます。

従来は「上質紙(コピー用紙)」に家庭用プリンターで印刷してきましたが、450枚余りの印刷労力もさることながら、使用するインク代(当然のことながら純正ではなく格安インクを使用しても)がかさみ、両面印刷の場合@8円前後が必要でした。

現在は印刷会社にメールで原稿を送り、「コート紙」に印刷してもらうことで半額程度に節約できています。「上質紙」利用より低価格で作成でき、かつ印刷映えもする「コート紙」利用が最適と判断した理由です。ご理解の程よろしくお願い致します。

10/22 (土) 損保9条の会 第19回講演会

北とぴあに集合!! YouTube 視聴も併用

今年の損保9条の会講演会は、東京北区・王子の北とぴあ15階ペガサスホールで10月22日(土)14時(開場13時30分)から開催します。講師は元外交官の孫崎享(ウケル)さん。

ロシアによるウクライナ侵略が世界中に大きな衝撃を与え、6か月を経過した今なお停戦等への道すじが定まらない状況が続いています。そのほか日本近海でも台湾や尖閣列島をめぐる紛争の火種が後を絶ちません。こうした現在の情勢をどう捉え、戦争のない平和への道すじを元外交官の孫崎さんならではの経験に基づきわかりやすく講演いただく予定です。会場に足をお運びいただくリアル参加を基本としますが、新型コロナ感染が続いていますのでYouTubeによる視聴方式も併用いたします(詳細は同封の案内チラシを参照下さい)。リアル参加ご希望の方は、事前に事務局和田までご一報下さい。

恒例の講演会終了後の懇親会をいつもの中華料理店で予定しています。日本興亜の会の皆さまだけでなく他の損保9条の会の方とも合同の貸し切り利用で、懇親を深めたいと思っています。ご期待下さい。

署名および活動資金カンパありがとうございました

「全国署名」は177筆を集約

九条の会を含む4つの団体で構成する「全国市民アクション」から呼びかけられた「憲法改悪を許さない全国署名」に損保9条の会全体で取り組みました。コロナ禍で外出もままならない不自由さがあり、多くの人が集まる飲み会や集会、帰省といった行動も制限される困難な中で皆さまに取組んでいただきました。

8月末現在、日本興亜9条の会で集約できたのは47名の方から177筆で、九条の会を通じて請願先に提出済みです。損保9条の会全体では約1,500筆に及んでいます。

参院選の結果、数の上では残念ながら衆参両院とも改憲勢力が2/3を超える議席を有する状況になっています。しかしながら改憲勢力も一枚岩でなく、各党の思惑がからみ簡単に改憲発議できる状況にありません。

引き続き「憲法改悪を許さない全国署名」に取組めます。お手元に前回送付用紙がある方はそれを活用下さい。また新たに用紙が必要な方は事務局(nrhkwd1951@yahoo.ne.jp)までご一報下されば追加送付いたします。損保9条の会ホームページからも入手可能です。

日本興亜9条の会へのカンパは33万円余

2月に発行した前号の「たより No.34」で日本興亜9条の会の活動を支える資金カンパをお願いしたところ、8月末現在、62名の方から335,296円(うち切手35,296円)という驚くべき金額のカンパをいただきました。

当会の活動費は全て皆さまのカンパで賄っていますので、感謝の気持ちで一杯なのと今後の活動に向けて大きな励ましを受けました。本当にありがとうございました。

これまでの残高とあわせ保有額は約39万円となりましたので、「たより」の継続的な発行を中心に、9条を守り平和を願う皆さまの支えとなるべき活動を継続していきたいと思います。

日本興亜9条の会の活動や損保9条の会全体の活動状況、他の単位会のニュースなどは、「損保9条の会 公式ホームページ」でご覧いただけます。

[「http://www.sompo9.org」](http://www.sompo9.org)もしくは「損保9条の会」で検索下さい。